

平成29年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：平成30年3月29日（木）13：00～14：22

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	佐々木 光俊	経済学部長・教授・理事・評議員
5	大沼 徹	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	小針 美由紀	高校教頭・評議員
9	長谷川七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
12	本橋 隆司	千葉経済大学父母の会会長・評議員
13	齋田 洋明	千葉経済大学短期大学部後援会会長・評議員
14	水澤 健之	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
15	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
16	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
17	手島 英男	税理士法人千葉中央会計事務所所長・評議員
18	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
19	小澤 慶和	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
20	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
21	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
22	石渡 哲彦	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
23	佐久間道子	評議員
24	黒田 宣夫	大学教授・評議員
25	堀 敏明	日本私立学校振興・共済事業団企画室次長・評議員
26	積田 悟	前高校副校長・評議員
27	池澤 秀夫	(株)千葉興業銀行顧問・学園監事
28	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】平成29年度予算補正について

石井 伸 会計課課長補佐から、別添1「平成29年度資金収支補正予算書・事業活動収支補正予算書」に基づき科目ごとに当初予算に対する補正後の増減額及び増減理由の説明があった。

【2】平成30年度事業計画について

山口 博 法人事務局長から別添2「平成30年度事業計画（案）」に基づき、平成29年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の平成30年度事業計画が説明された。

基本方針

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進する。

学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行う。

平成30年度事業計画

〔千葉経済学園〕

●建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、多様な取組みを通じて周知徹底する。

●大学・短期大学・附属高校の連携推進

「千葉経済学園 高校・短期大学・大学連携会議」を軸に、ビジネス教育、入試、進路、広報、学生生徒の諸活動等にわたって学校間の密なる機能連携を図る。

●学園85周年記念事業

学園85周年記念事業として、新耐震基準を満たしていない附属高校第2・第3体育館を取壊し、耐震機能を強化した新体育館を平成31年6月からの利用開始に向けて建設する。建設費用は補助金及び借入金のほか寄附金を募って充てることとする。

●広報の充実強化と I R

大学・短期大学・附属高校における学生生徒の募集に係る広報に加えて、学園の教育研究についての幅広い情報発信や新たな手法による情報発信に取り組む。情報企画戦略室においては、学園数値データ集を作成し、IR（Institutional Research）の推進に努める。

●短期大学部旧校舎跡地の活用の検討

短期大学部旧校舎を平成 30 年度から 31 年度にかけて解体し、同敷地を大学及び短期大学の共用スポーツエリアとして整備し得るよう準備するとともに、新耐震基準を満たしている短大 B 棟の有効活用方策について検討する。

●ボランティア活動の推進

地域貢献という学園の使命を果たすため、2020 年開催のオリンピック・パラリンピックも念頭に置きながら、地域の関係団体と連携した学生生徒のボランティア活動を推進していく。

●資格取得奨励

大学・短期大学・附属高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与する。

●学園監事の監査機能の充実

監事は学校法人の管理運営が適正に行われているか監査するため、財産の状況のみならず、理事の業務執行の監査にも努め、理事会、評議員会に出席するとともに、随時、学園の事業の監査を行うこととする。また、監事監査を支援するための事務体制や内部監査機能の整備を行う等監査の充実を図るための取組みを行う。

●防災備蓄の整備

大学・短期大学・附属高校の学生生徒用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた対策を推進する。

[千葉経済大学附属高等学校]

●新校舎の点検改修工事の実施

建設後 13 年目となる新校舎の点検改修工事を昨年度に引き続き実施する。

●視聴覚教室の改修

授業での ICT（情報通信技術）の利用を進めるべく 1 号館視聴覚室を改修し、新たな

ICT 設備を導入して、教育環境を整備する。

●高校クラブハウスの点検改修

建築後 14 年目（学園取得は平成 24 年）となる高校クラブハウスの点検改修工事を実施する。

●学力向上のための授業内容の充実

「高校生のための学びの基礎診断(仮称)」「大学入学共通テスト(仮称)」の導入を見据えて、生徒の学力向上に資するための授業内容の一層の充実と教育方法の研究に努める。

●特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進クラスの教育の充実を引き続き図り、国公立難関大学への進学実績を高めるとともに、一般コースの生徒のニーズに応えた進学指導を徹底する。

●専門科教育の充実

専門科目の教育の充実を図り、多くの資格取得を促す。また、商業教育の課題研究の発展に努める。

●新学習指導要領への移行準備

2022 年度の次期学習指導要領への移行に向けて、理解を深め、準備に着手する。

●部活動の振興

運動部においては、強化指定部活動を中心に各種大会での活躍を期し、より一層の活性化を図る。文化部においても、学校内外に文化的発信ができるよう振興に努める。

●いじめ及び体罰の防止に努める

「いじめ及び体罰防止対策推進委員会」を活かして、いじめ及び体罰の防止に積極的に取り組む。

●教員研修の充実

新規採用教員の増加を考慮し、経験年数の浅い教員への研修を計画的に実施し教員としての資質の向上を図る。また、教科研究授業や論語公開授業などにより、全教員が教育力の向上を目指すよう努める。

【3】平成30年度予算について

石井 伸 会計課課長補佐から、別添3「平成30年度資金収支予算書・事業活動収支予算書」に基づき、平成29年度補正予算との対比での説明があり、科目ごとに29年度補正に対する30年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

【4】千葉経済大学附属高等学校学則の一部改正について

山口 博 法人事務局長から、別添7「千葉経済大学附属高等学校学則の一部改正案(案)新旧対照表」及び「千葉経済大学附属高等学校 平成31年度学費(案)」、「平成30年度千葉県内私立高校初年度納付金一覧」に基づき①平成31年度の入試から受験料を改正すること、②平成31年度以降の入学生から施設設備費を改正することの説明があった。

【5】千葉経済大学附属高等学校第2、第3体育館の解体及び新体育館の建設計画について

山口 博 法人事務局長から、別添8「処分する基本財産の概要」及び「外観パース・平面図・立面図」に基づき、附属高校の体育館のうち戦前から建っている第2、第3体育館が耐震基準を満たしていないことから取り壊して第2体育館の場所に三階建ての新体育館を建設することの説明があった。

【6】旧短大校舎解体事業及び高校校舎等改修事業に係る借入金について

山口 博 法人事務局長から、別添9「旧短大校舎解体事業及び高校校舎等改修事業に係る借入金」に基づき説明された。

【7】千葉経済学園創立85周年記念事業及び寄附募集について

山口 博 法人事務局長から、資料3「募金趣意書 高校体育館改築資金寄附ご協力のお願い」に基づき説明があった。

【8】その他(報告事項等)

飯島 一生 高等学校副校長より①就職内定状況並びに②入学者数見込等についての近況報告があった。

3月3日に卒業式を終えた卒業生の進路状況は、4年生大学に320名(50.2%)、短期大学に63名(9.9%)、専門学校に167名(26.2%)、就職34名(5.4%(公務員も含む))、進学未定が6.6%であった。

半分の生徒が4年生大学に進学をし、また就職の中には、千葉県警等の公務員にも決まっている者もおります。

平成30年度生の入学説明会を実施しましたが、621名の生徒が入学予定です。

・意見

①経費の削減に務められており評価できる補正額である。

②命名権の導入などのユニークな千葉経済学園らしさのある寄附募集を考えてほしいこと、また、同窓会組織等を見直しをして、寄附が集まるような活動にしていきたい。

※満足度調査結果（平成28年度）の公開は、学内限定公開することとしております。